

経験や技術 学生たちに

都市対抗野球でJ R北海道が、道勢19年ぶりの黄獅子旗(3位)を獲得した第78回大会(2007年)。現在、札幌大谷大野球部で監督を務める神田幸輝さん(46)は、チームの大黒柱として快進撃を支えた。観客で埋め尽くされたスタンドからの大歓声と、郷土色あふれる応援。東京ドームのマウンドからみた風景は、今も目と耳に残っているという。

神田さんは当時35歳。第78回大会はコーチ兼務のベテラン左腕として、準決勝まで全4試合に先発や抑えてフル登板した。「選手みんなの勝つんだという強い意志で一丸と

道内の高校や大学では、かつて道社会人球界でプレーした選手が後進の指導にあたる。神田さんは投手出身として、大事な場面で打者と対峙した際の初球の入り方や、相手を追い込んでからの勝負球など、より実戦的な指導を行うほか、「練習の時から、試合で自分をコントロールする力を養えることにも力を入れていきます」と話す。現役時代の冷静なマウンドさばきが目に浮かんだ。

社会人野球の財産

1909年創部のJ R北は当時、チーム改革に取り組み、01年に初めて外部監督として北海道拓殖銀行でプレーした高岡茂夫氏(現札幌国際大監督)を招致。選手強化に加え、休廃部したチームから選手を招いた。野球ができる環境に感謝し、真摯に取り組む姿勢を若手選手に感じ取ってもらいたいとの願いからだった。

神田さんは当時35歳。第78回大会はコーチ兼務のベテラン左腕として、準決勝まで全4試合に先発や抑えてフル登板した。「選手みんなの勝つんだという強い意志で一丸とな

道内の高校や大学では、かつて道社会人球界でプレーした選手が後進の指導にあたる。神田さんは投手出身として、大事な場面で打者と対峙した際の初球の入り方や、相手を追い込んでからの勝負球など、より実戦的な指導を行うほか、「練習の時から、試合で自分をコントロールする力を養えることにも力を入れていきます」と話す。現役時代の冷静なマウンドさばきが目に浮かんだ。

都市対抗

北の獅子たち

新時代に挑む

上



札幌六大学野球リーグの札幌大谷大野球部で指揮を執る神田幸輝監督—札幌市中央区の札幌円山球場で

現役引退後は、男女共学化でチームができたばかりの札幌大谷高野球部でコーチを務め、その後は札幌学生野球連盟に新加入した札幌大谷大の監督に就任した。

◇ 三沢邦彦

昭和から平成を経て、90回目節目を迎えた都市対抗。新しい時代を迎えた道社会人野球の存在意義を探った。